

エンタープライズサーバ「EP8000 シリーズ」に POWER5+ プロセッサを搭載



EP8000 550Q
(タワーモデル)



EP8000 550Q
(ラックマウントモデル)

日立製作所 情報・通信グループ(グループ長&CEO:古川 一夫、以下、日立)は、米国 IBM 社の UNIX オペレーティングシステム(OS)である AIX 5L を採用しているエンタープライズサーバ「EP8000 シリーズ」において、POWER5+プロセッサを搭載したエントリーモデル「EP8000 550Q」「EP8000 550」「EP8000 520」を 10 月 11 日から販売を開始します。同時に、POWER5 プロセッサを搭載した 1U(高さ約 44.5mm)サイズのエントリーモデル「EP8000 505」を新たに追加し、同日、販売を開始します。

「EP8000 550Q」は、2way 構成の POWER5+(1.5GHz)を 2 個搭載したプロセッサモジュールを採用したモデルで、「EP8000 550」に比べ 2 倍のプロセッサ数の 8way 構成も可能となっています。これにより、これまでの POWER5 を搭載した「EP8000 550」に比べ最大性能を約 1.8 倍に向上し、エントリーモデルながらミッドレンジクラスの性能を実現しました。また、「EP8000 505」は、1U の薄型サーバながら POWER5 の 2way 構成を実現し、これまでの「EP8000 520」2way 構成と同等の性能を発揮します。高性能な POWER アーキテクチャプロセッサを搭載したサーバとして、フロントエンドの Web サーバだけでなく、価格性能比に優れた高性能クラスシステムの構築にも活用できます。

今回発表の新モデルはエントリーモデルながら、TCO の削減とビジネス規模の変化への迅速な対応を可能とする高度なハードウェア資源仮想化機能をサポートしています。また、ハードウェアとしてだけではなく、ホットスタンバイ構成における十数秒という高速な系切替えなど、システムとして高い信頼性・可用性も備えています。さらに、従来の 2 倍の速度の 4Gbps ファイバチャネルも利用可能で、日立ディスクアレイサブシステム「SANRISE シリーズ」との組み合わせにより、高性能かつ高信頼なストレージシステムの構築が可能です。

■新製品の概要

モデル	形状	プロセッサ (周波数)	最大プロセッサ数 (way)	メモリ容量	拡張 PCI スロット数
EP8000 550Q	ラックマウント/タワー	POWER5+ (1.5GHz)	8	1GB~32GB、 33GB~64GB(*1)	最大 61
EP8000 550	ラックマウント/タワー	POWER5+ (1.9GHz)	4	1GB~32GB、 33GB~64GB(*1)	最大 61
EP8000 520	ラックマウント/タワー	POWER5+ (1.9GHz)	2	1GB~16GB、 17GB~32GB(*1)	最大 34
EP8000 505	ラックマウント	POWER5 (1.5GHz)	2	1GB~16GB	2

(*1) 2006 年度第 1 四半期サポート予定

■新製品の価格と出荷時期

モデル	形状	価格	出荷時期
EP8000 550Q	ラックマウント/タワー	5,763,450 円～ (税抜 5,489,000 円～)	2005 年 11 月 30 日
EP8000 550	ラックマウント/タワー	4,529,700 円～ (税抜 4,314,000 円～)	2005 年 11 月 30 日
EP8000 520	ラックマウント/タワー	3,064,950 円～ (税抜 2,919,000 円～)	2005 年 11 月 30 日
EP8000 505	ラックマウント	1,029,000 円～ (税抜 980,000 円～)	2005 年 11 月 30 日

■他社商標注記

- ・AIX、IBM は、米国における米国 International Business Machines Corp.の登録商標です。
- ・POWER5、POWER5+は、米国における米国 International Business Machines Corp.の商標です。
- ・UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。
- ・その他記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■製品情報

<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/EP8000>

■取扱事業部・照会先

株式会社 日立製作所 情報・通信グループ
エンタープライズサーバ事業部 企画部【担当:喜多村】
〒259-1392 神奈川県秦野市堀山下1番地
電話:0463-87-6786(ダイヤルイン)

以上

■新製品の特長**1. POWER5+プロセッサ搭載モデルを投入しラインアップを大幅強化**

「EP8000 550Q」「EP8000 550」「EP8000 520」は、プロセッサに最新の POWER5+を搭載し、処理性能の向上を図りました。「EP8000 550」「EP8000 520」に搭載される POWER5+(1.9GHz)は、アーキテクチャの改善と周波数向上により、従来モデルに搭載されている POWER5(1.65GHz)に比べ最大約 24%の性能向上を実現しています。同時に 1U サイズの薄型・省スペースモデル「EP8000 505」を新規にラインアップに追加し、エントリーモデルのラインアップを大幅に強化しました。

(1)「EP8000 550Q」「EP8000 550」POWER5+搭載モデルの特長

「EP8000 550Q」は、2way 構成の POWER5+(1.5GHz)を 2 個搭載したプロセッサモジュールを採用したモデルで、「EP8000 550」に比べ 2 倍のプロセッサ数の 8way 構成も可能となっています。これにより、これまでの POWER5 を搭載した「EP8000 550」に比べ最大性能を約 1.8 倍に向上し、エントリーモデルながらミッドレンジクラスの性能を実現しました。「EP8000 550」POWER5+搭載モデルは、POWER5+(1.9GHz) 4way 構成のエントリーサーバで、「EP8000 550Q」とあわせて、同等クラスの他社モデルを凌駕する価格性能比を実現しています。筐体はラックマウント型(4U)とタワー型の 2 種類を用意し、マシンルームからオフィスまで設置場所に応じて選べます。

メモリは最大 64GB(*1)、PCI-X スロットは I/O ドロワーを接続することで最大 61 スロット(*2)まで増強できるなど、処理性能だけでなくシステム拡張性も優れています。ミッドレンジクラスの性能と拡張性を兼ね備えた「EP8000 550Q」「EP8000 550」は、小規模から中規模の業務システム、データベース、OLTP などに非常に適したモデルです。

(2)「EP8000 520」POWER5+搭載モデルの特長

「EP8000 520」POWER5+搭載モデルは、POWER5+(1.9GHz)2way 構成のエントリーサーバです。POWER5(1.65GHz)を搭載した従来の「EP8000 520」に対し、OLTP 性能で約 13%の性能向上を実現しています。筐体はラックマウント型(4U)とタワー型の 2 種類を用意しています。

メモリは最大 32GB(*3)、PCI-X スロットは最大 34 スロット(*2)まで増強できるなど、2 プロセッサのエントリーモデルとして非常に高い拡張性を備えており、小中規模の業務システム、データベースなどに最適なモデルとなっています。

(3)「EP8000 505」の特長

「EP8000 505」は筐体のサイズが 1U(高さ約 44.5mm)と非常に薄型の高密度・省スペースなエントリーサーバです。「EP8000 505」は、1U サイズながら、プロセッサに高性能な POWER5(1.5GHz)を搭載した 2way 構成のエントリーサーバで、4U サイズの「EP8000 520」POWER5 搭載モデルと同等の処理性能を発揮します。またハードウェア資源仮想化機能や、メインフレームクラスの高信頼・高可用性機能もサポートした高機能・高信頼な 1U サーバです。メモリは最大 16GB まで増設でき、また PCI-X スロットを 2 スロット備えるなど十分な拡張性を備えています。

フロントエンドからバックエンドまで高信頼な「EP8000 シリーズ」で統一したシステム構築をしたい場合のフロントエンドサーバのほか、インターネットデータセンタや高性能クラスタシステムのノードなどスケールアウト型のシステムに非常に適したモデルです。

(*1) 2006 年度第 1 四半期サポート予定。それまでは最大 32GB となります。

(*2) ラックマウント型のみ。

(*3) 2006 年度第 1 四半期サポート予定。それまでは最大 16GB となります。

2. ハードウェア資源仮想化機能をサポート

今回の新モデルはエントリーモデルながら、いずれもマイクロパーティショニングに対応した動的論理分割(Dynamic LPAR(*4))や、LAN およびストレージの仮想化など高度なハードウェア資源仮想化機能をサポートしています。

システムリソースを動的に複数のパーティションに割り当てることができる動的論理分割機能(Dynamic LPAR)では、マイクロパーティショニング機能により、1/10 プロセッサという論理的な単位できめ細かく、かつ負荷に応じて自動的にパーティション間のプロセッサ能力の割り当てを行うことができます。「EP8000 550Q」POWER5+搭載モデルでは最大 80 パーティション(8way 構成時)、「EP8000 550」POWER5+搭載モデルでは最大 40 パーティション(4way 構成時)、「EP8000 520」POWER5+搭載モデル、「EP8000 505」では最大 20 パーティションに分割可能です。各論理パーティションに割り当てるプロセッサやメインメモリ、拡張 PCI スロットは、システムを再起動することなく追加・削除可能なため、業務内容や処理量に応じたシステムリソースの有効活用が可能です。

さらにパーティション間高速通信や、パーティション間での LAN アダプタ、ディスク/ディスク接続アダプタの共有を可能とする LAN 仮想化・ストレージ仮想化の機能もサポートしています。

これらハードウェア資源仮想化機能により、ハードウェアリソースのより有効な活用による TCO 削減、ビジネス規模の変化にあわせた迅速かつ柔軟なシステム構成変更・増強を行うことが可能です。

(*4) LPAR: Logical Partition

3. メインフレームクラスの信頼性と可用性

今回の新モデルも従来の「EP8000 シリーズ」と同様、動的プロセッサ切り離し機能、PCI バス障害回復機能、動的 PCI アダプタ切り離し機能など、様々な高信頼化機能をサポートしています。これにより、システム停止につながる障害発生を大幅に低減します。

また、高可用性ソフトウェア HA モニタとスケラブルデータベース HiRDB によるクラスタ構成において、現用系システムの OS 障害発生と同期した待機系システムへの即時切替え通知や、現用系システムから待機系システムへの共有ディスクの高速切替えを実現するソフトウェア HA Booster Pack for AIX を用いることにより、これまで数分オーダーの時間を必要とした障害時のシステム系切替えを十数秒という極めて短い時間に実行することができるなど、ハードウェアとしてだけでなく、システムとしても高い信頼性・可用性を備えています。

4. 高性能・高信頼ストレージインタフェースをサポート

年々蓄積される大量のデータは企業の大切な経営資源となっており、ストレージに対しても優れた性能と高い信頼性・可用性が強く求められています。

「EP8000 シリーズ」は、UNIX サーバとしていち早く 4Gbps 対応ファイバチャネルアダプタを製品化しています。このファイバチャネルアダプタは、高い性能に加え、独自の強力な障害検出機能、エラートレース機能を備えており、SANRISE 専用ドライバと組み合わせることにより、情報システムの基幹であるサーバとストレージ間のパスに万一障害が発生した場合でも、単時間での障害原因究明を可能とします。

このアダプタを用いて、今回発表の POWER5+を搭載した「EP8000 550」「EP8000 520」と日立ディスクアレイサブシステム「SANRISE Adaptable Modular Storage 500」を接続することで、4Gbps ファイバチャネルの性能をフルに発揮する高性能かつ高信頼なストレージシステムの構築が可能です。

5. 最新のソフトウェア環境を提供

オペレーティングシステム(OS)は、POWER5+/POWER5 搭載モデルの性能・機能を最大限に引き出す米国 IBM 社の最新版 UNIX OS「AIX 5L V5.3」に対応しています。

「AIX 5L V5.3」は、優れたパフォーマンス、信頼性・可用性、Linux との高い親和性に加え、セキュリティや Java 実行環境などネットビジネス構築のためのオープンかつミッションクリティカルな基盤機能も提供します。ミドルウェア/アプリケーションには、基幹業務システムで実績のある日立オープンミドルウェアに加え、DBMS(*5) 製品 Oracle®や SAP® R/3®を含む SAP の E ビジネスプラットフォーム mySAP.com®など豊富な ISV(*6) 製品がご利用頂け、幅広いニーズに対応したシステムを構築することが可能です。

(*5) DBMS:Database Management System

(*6) ISV:Independent Software Vendor

■他社所有商標に関する表示

- ・AIX、IBM は、米国における米国 International Business Machines Corp.の登録商標です。
- ・Java 及びすべての Java 関連の商標及びロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- ・Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。
- ・Oracle は、Oracle Corporation の登録商標です。
- ・POWER5+、POWER5 は、米国における米国 International Business Machines Corp.の商標です。
- ・SAP®、R/3®, mySAP.com®は、SAP AG のドイツおよびその他の国における登録商標または商標です。
- ・UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

■新製品の仕様

モデル		EP8000 550Q/EP8000 550 POWER5+搭載モデル			
形状		タワー		ラックマウント	
プロセッサ	プロセッサ名称	POWER5+			
	クロック・レート(GHz)	1.9	1.5	1.9	1.5
	プロセッサ数(way)	2	4	2/4	4/8
レベル2キャッシュ(MB)(*1)		1.9 (2wayあたり)			
レベル3キャッシュ(MB)(*1)		36 (2wayあたり)			
主記憶容量	最小～最大(GB)(*1)	1～16、 17～32(*3)		1～32、 33～64(*3)	
ディスク容量	最小～最大(GB)(*2)	73.4～2,400		73.4～16,492.8(*4)	
拡張PCI-Xスロット本数		5		5～61(*4)	
I/Oドロワー数		—		0～8	
外形寸法 (W×D×H:mm)	CPUドロワー	—		437×686×178 (4U)(*5)	
	I/Oドロワー	—		482×610×178 (4U)(*5)	
	搭載筐体	201×779×533		標準ラック筐体/低層ラック筐体(*6)	
電源仕様	電圧(V)	100～127 (単相)		100～127(*7) /200～240 (単相)	
	周波数(Hz)	50または60			
省エネ法に 基づく表示	エネルギー消費効率	0.033	0.024	0.033	0.024
	区分	I			
搭載OS		AIX 5L V5.3 または AIX 5L V5.2			

モデル		EP8000 520 POWER5+搭載モデル	
形状		タワー	ラックマウント
プロセッサ	プロセッサ名称	POWER5+	
	クロック・レート(GHz)	1.9	
	プロセッサ数(way)	2	
レベル2キャッシュ(MB)(*1)		1.9 (2wayあたり)	
レベル3キャッシュ(MB)(*1)		36 (2wayあたり)	
主記憶容量	最小～最大(GB)(*1)	1～16、 17～32(*3)	
ディスク容量	最小～最大(GB)(*2)	73.4～2,400	73.4～9,446.4(*8)
拡張PCI-Xスロット本数		6	6～34(*8)
I/Oドロー数		—	0～4
外形寸法 (W×D×H:mm)	CPUドロー	—	442×573×172 (4U)(*5)
	I/Oドロー	—	482×610×178 (4U)(*5)
	搭載筐体	190×590×535	標準ラック筐体/低層ラック筐体(*6)
電源仕様	電圧(V)	100～127 (単相)	100～127/200～240 (単相)
	周波数(Hz)	50または60	
省エネ法に 基づく表示	エネルギー消費効率	0.027	
	区分	I	
搭載OS		AIX 5L V5.3 または AIX 5L V5.2	

モデル		EP8000 505	
形状		ラックマウント	
プロセッサ	プロセッサ名称	POWER5	
	クロック・レート(GHz)	1.5	
	プロセッサ数(way)	2	
レベル2キャッシュ(MB)(*1)		1.9 (2wayあたり)	
レベル3キャッシュ(MB)(*1)		36 (2wayあたり)	
主記憶容量	最小～最大(GB)(*1)	1～16	
ディスク容量	最小～最大(GB)(*2)	73.4～146.8	
拡張PCI-Xスロット本数		2	
外形寸法 (W×D×H:mm)	CPUドロー	440×710×43 (1U)(*5)	
	搭載筐体	標準ラック筐体/低層ラック筐体(*6)	
電源仕様	電圧(V)	100～127/200～240 (単相)	
	周波数(Hz)	50または60	
省エネ法に 基づく表示	エネルギー消費効率	0.029	
	区分	I	
搭載OS		AIX 5L V5.3 または AIX 5L V5.2	

エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

(*1) 1MB(メガバイト)=1,024²バイト, 1GB(ギガバイト)=1,024³バイトです。

(*2) 1GB(ギガバイト)=1,000³バイトです。

(*3) 2006年度第1四半期サポート予定。

(*4) I/Oドロー(ディスクベイ有) 8台接続時。

(*5) ラック搭載時の占有サイズ(1U=高さ約44.5mm)。

(*6) ラック筐体は、下記のうちから選択できます。

23Uラック筐体(格納サイズ23U)外形寸法 647×1,138×1,193(W×D×H:mm)

36Uラック筐体(格納サイズ36U)外形寸法 647×1,138×1,798(W×D×H:mm)

42Uラック筐体(格納サイズ42U)外形寸法 647×1,138×2,015(W×D×H:mm)

(*7) 1.9GHz 2way および 1.5GHz 4way 構成時のみ。

(*8) I/Oドロー(ディスクベイ有) 4台接続時。

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
